



# 故障かな!?

| 症状                                  | 原因と処置  | ページ  |
|-------------------------------------|--|--|
| 電源・共通                               |  |  |
| 電源が入らない                             | 車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可)<br>各コードの接続を確認してください。<br>本機、または接続した機器のヒューズが切れている。<br># お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換を依頼してください。  | 16<br>82~86<br>-   |
| ディスクを入れても音が出ない、または自動的に排出される(再生できない) | 音量を上げてください。<br>ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。<br>ディスクを正しい面に入れなおしてください。<br>ディスクの汚れをクリーニングしてください。<br>本機で再生可能なディスクか確認してください。<br>音楽用の(録音されている)ディスクを使用してください。<br>使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。<br>CA-TU9200Dと接続する場合には、光ファイバーケーブルを使用してください。<br>各コードの接続を確認してください。<br>スピーカーの設定が「NO」や「NONE」になっている。<br>設定を確認してください。<br>DVDビデオ再生時にディスク側の設定で「DTS」を選択している。<br>ディスク側の操作で「ドルビーデジタル」、または「PCM」に切り替えてください。(DTS再生できるのは、CA-TU9200D接続時のみ)<br>結露している。しばらく放置してから使用してください。<br>本機、または接続した機器のヒューズが切れている。<br># お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換を依頼してください。 | 16<br>16<br>20<br>74<br>15<br>15<br>70<br>*<br>82~86<br>52<br>-<br>- |
| 音質が悪い(音がとぶ)                         | ディスクの汚れをクリーニングしてください。<br>MP3の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。<br>詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。<br>本機の取り付けを確認してください。<br>角度を30°以内に調整し、振動しないようにしっかり取り付けてください。  | 74<br>-<br>77  |
| 早送り/早戻し中に画像が乱れる                     | 多少乱れることがありますが、故障ではありません。   | "  |
| 音声のみで、映像が出ない(チャンネルのみ表示)             | 各コードの接続を確認してください。<br>サイドブレーキのコードの接続を確認してください。<br>サイドブレーキを引いて、使用してください。   | 82~86<br>83<br>"   |

\* CA-TU9200Dの取扱説明書をご覧ください。

| 症状                          | 原因と処置   | ページ              |
|-----------------------------|---|------------------|
| 電源・共通(つづき)                  |   |                  |
| 音が割れる                       | 接続する機器に応じて本機の音声入力レベルを調整してください。  | 52               |
| アスペクトが4:3(16:9)にならない        | アスペクトを正しく設定してください。  | 30               |
| FMトランスミッタの音が出ない、音が小さい、雑音が出る | FMトランスミッタの選択を「ON」にしてください。<br>FMラジオの周波数と、本機の周波数を一致させてください。<br>FMトランスミッタ用アンテナコードの引き回しを調整し、受信状態がよくなるようにコードを伸ばしてください。   | 36<br>36<br>82   |
| 雑音が出る<br>映像の映り悪くなる          | TVアンテナが十分に伸びているか、確認してください。<br>携帯電話などを本機から離してください。   | 80<br>8          |
| ディスクが出てこない                  | ディスクの不良、またはメカの不良。<br>#  を押してください。<br># 動作しない場合は、リセットスイッチを押してください。<br># お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。 | 20<br>68<br>-    |
| モニター                        |   |                  |
| モニターの上下角度や前後の位置が調整できない      | 障害物などにあたらない位置で使用してください。   | 17               |
| モニターが収納できない                 | モニターの左右の角度を中央に戻してください。<br>モニターが水平にならずに、途中で止まった場合はモニターを軽く上に持ち上げてから、<br> を押してください。                             | 17<br>16         |
| テレビ                         |   |                  |
| 雑音のみで映像が不鮮明                 | 放送局の電波が弱い。<br># 放送局を切り替えてください。<br>まわりに障害物があるので、受信状態が良くない。<br># 受信状態の良い場所に移動してください。<br>TVアンテナの接続や取り付けを確認してください。  | 18、19<br>-<br>80 |

# 故障かな!?

| 症状                            | 原因と処置  | ページ   |
|-------------------------------|--|-------|
| <b>DVDビデオ</b>                 |  |       |
| ボタンを押しても動作しない                 | ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。  | 11、20 |
| DVDビデオ再生の音量が小さい               | 音楽CDとDVDビデオの録音レベルには差があります。DVDビデオ再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。  | -     |
| 再生中に小さい音が聞き取りにくい              | DR COMP (ダイナミックレンジコンプレッション) を「DR COMP MIN」に設定してください。   | 23    |
| 字幕言語/音声言語/アングルが切り替わらない        | 複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り替えられません。メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。または、特定の画面のみアングルなどが切り替えられる場合もあります。ディスクの説明書をご覧ください。 | 23    |
| 設定した字幕言語/音声言語に切り替わらない         | 設定した字幕/音声記録されていないディスクでは、切り替わりません。メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。  | 23    |
| メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない       | メニュー言語の設定を確認してください。  | 38    |
| <b>ビデオCD</b>                  |  |       |
| ビデオCDのメニュー再生ができない             | プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。  | 73    |
| <b>音楽CD</b>                   |  |       |
| CDを入れても音が出ない (再生経過時間は表示されている) | ミックスモードのディスクの第1トラックを再生した。ミックスモードとは、第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマットです。第2トラック以降の音楽データを再生してください。 | -     |
| CDテキストが正しく表示されない              | ディスクの汚れをクリーニングしてください。  | 74    |

| 症状                      | 原因と処置  | ページ                  |
|-------------------------|--|----------------------|
| <b>MP3</b>              |  |                      |
| ディスクを入れても音が出ない (再生できない) | MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。ディスクを正しい面に入れなおしてください。  | 70~71<br>20          |
| ファイル名/フォルダ名が正しく表示されない   | フォルダ名/ファイル名は、規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく表示されない場合があります。                                      | 70~71<br>70~71       |
| ID3 Tagが正しく表示されない       | ID3 Tagは、規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。文字コードが正しくない。文字コードを切り替えてください。使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、文字コードを切り替えても正しく表示されない場合があります。 | 70~71<br>71<br>70~71 |
| 再生経過時間の表示が実際と一致していない    | 車のイグニッションスイッチを「OFF」にした。他のファイルを再生すると、正常に戻ります。   | 70~71                |
| 再生が始まるまでに時間がかかる         | ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。                                   | 70~71                |
| 順番どおりに再生されない            | 再生させたい順番どおりに、書き込まれていない。ファイル名の頭に「01」~「99」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合は、CD-DAデータのみ再生されます。        | 70~71<br>70~71       |

# 故障かな!?

| 症状   | 原因と処置  | ページ          |
|--|--|--------------|
| <b>ラジオ</b>                                   |  |              |
| FMステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い                     | ラジオアンテナが十分に伸びているか、確認してください。<br>放送局の電波が弱い。 放送局を変えてください。                       | -<br>48、49   |
| <b>ナビゲーション・車載用ビデオ・ビデオカメラ・車載用カメラ・リアモニターなど</b> |  |              |
| ナビゲーションの映像が出ない                               | ナビゲーションの接続を確認してください。<br>ナビゲーション入力の設定を確認してください。                               | 84<br>60     |
| 車載用ビデオやビデオカメラの映像が出ない                         | 車載用ビデオやビデオカメラの接続を確認してください。   | 86           |
| 車載用カメラの映像が出ない                                | 車載用カメラの接続を確認してください。<br>カメラ入力の設定を確認してください。                                    | 86<br>34     |
| 2台目のモニターの映像が切り替わらない                          | リアモニターの設定が「自動」以外になっていないか、確認してください。   | 28           |
| 車載用ビデオやビデオカメラの音が割れる                          | VTR1/VTR2の入力レベルが、過大になっている。<br>(「OVER」が表示されている)<br>VTR音声入力レベルを調整してください。       | 52           |
| <b>画質・音質調整</b>                               |  |              |
| 画面の明るさが一定でない                                 | ディマー設定が「自動」になっている。<br>故障ではありません。設定を「1」～「4」にすると、周囲の明るさに影響されなくなります。            | 36           |
| 映像が暗い/白っぽい<br>色あいが悪い/色が濃い                    | 画面調整の各項目を調整してください。   | 36           |
| 前後左右何れかの音が出ない                                | BAL/FADで、前後左右のバランスを調整してください。<br>CA-TU9200D/TU7200D接続時は、スピーカーコードの接続を確認してください。 | 58           |
| ステレオのとき、<br>左右の音が逆になる                        | スピーカーコードの接続を確認してください。  |              |
| スピーカーから音が出ない                                 | 各コードの接続を確認してください。<br>スピーカーの設定が「NO」や「NONE」になっている。<br>設定を確認してください。             | 82-86、<br>52 |

CA-TU9200D/TU7200Dの取扱説明書をご覧ください。

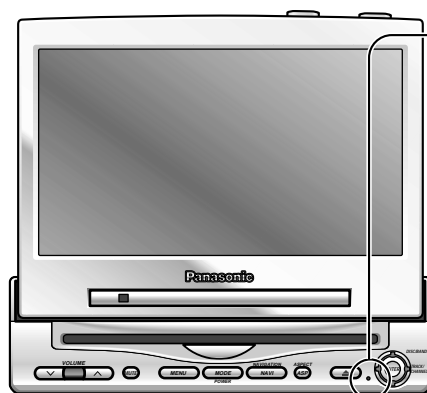
| 症状                   | 原因と処置   | ページ                    |
|----------------------|---|------------------------|
| <b>画質・音質調整 (つづき)</b> |   |                        |
| サブウーファーから音が出ない       | サブウーファーのチャンネルがあるディスクを再生している場合<br>スピーカー設定で、サブウーファーが「NO」に設定されている。<br># サブウーファーを「YES」に設定してください。<br>ダウンミックスしている。<br># 故障ではありません。<br>サブウーファーから音声を出力するには、ダウンミックスを解除してください。  | 52<br>44               |
|                      | サブウーファーのチャンネルがないディスクを再生している場合<br>またはアナログ音声を再生している場合<br>スピーカー設定で、サブウーファーが「NO」に設定されている。<br># サブウーファーを「YES」に設定してください。<br>サラウンド設定が「ON」になっている。<br># 故障ではありません。<br>サブウーファーから音声を出力するには、サラウンド設定を「OFF」にして、音場設定を「OFF」または「VOCAL」以外に設定してください。<br>音場設定が「OFF」または「VOCAL」になっている。<br># 故障ではありません。<br>サブウーファーから音声を出力するには、音場設定を「OFF」または「VOCAL」以外に設定してください。<br>1 ch、3 ch、4 ch、5 chで収録されたディスクを再生している。<br># 故障ではありません。<br>これらのディスク再生時は、サブウーファーから音声が出力されません。 | 52<br>44、46<br>46<br>- |
| <b>リモコン</b>          |   |                        |
| ボタンを押しても動作しない        | ⊕ ⊖を電池ケースの表示に合わせて入れてください。<br>電池が消耗している。 交換してください。<br>リモコン受光部に向けて操作してください。<br>ナビ付属リモコンのナビ/テレビ切り替えスイッチを「TV」側にしてください。  | 9<br>9<br>10<br>14     |

# 故障かな!?

## こんなときは、故障ではありません

| 症状                                | 原因   |
|-----------------------------------|--|
| 映像がゆれる<br>映像が2重3重になる<br>(雑音が出る)   | ビルとビルの間/送電線の付近/山かげ/電車の近くなどを車が通過した。<br>車の上空を飛行機が通過した。 |
| 映りが悪くなる<br>色が出たり消えたりする<br>(雑音が出る) | 山や木立のかげになっている。<br>放送局から遠く、電波が弱い。                     |
| 画面にはん点が出る<br>(音は正常)               | 自動車/バイク/高压線/ネオンサイン等の近くなどを車が通過した。                     |
| 色模様が出る、色が消える<br>(音は正常)            | ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くなどを通過した。<br>車内で無線機を使用した。     |
| 赤、青または緑の点が表示される                   | 液晶ディスプレイ特有の現象です。                                     |

## どのボタンを押しても動作しない場合には



リセットスイッチ  
折れにくい棒状のもので、リセットスイッチをまっすぐに押してください。  
CA-TU9200D/TU7200D接続時には、本機およびCA-TU9200D/TU7200Dのリセットスイッチを両方とも押してください。

リセットしても正常に戻らない場合は  
お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。

### 万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。  
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。  
お客様による修理は、絶対におやめください。

## こんな表示が出たときは

| 表示           | 原因・処置  |
|--------------|--|
| E1           | E1エラーのとき<br>(表示されずに、ディスクが自動的に排出される場合もあります。)<br>ディスクが汚れている、裏返しになっている。<br>ディスクを取り出して、ディスクを確認してください。  |
| E2           | E2エラーのとき<br>(表示されずに、ディスクが自動的に排出される場合もあります。)<br>ディスクが汚れている、裏返しになっている。<br>ディスクを取り出して、ディスクを確認してください。  |
| E3           | E3エラーのとき<br>(表示されずに、ディスクが自動的に排出される場合もあります。)<br>何らかの原因で動作しない。<br>イジェクトボタンを押しても動作しない場合には...<br>リセットスイッチを押してください。<br>それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。 |
| E4           | 選択されたファイルが、本機では再生できません。<br>ディスクを取り出して、ディスクを確認してください。   |
| NO DISC      | ディスクが入っていない。<br>ディスクを入れてください。  |
| NO MAGAZINE  | チェンジャーにマガジンが設置されていない。<br>CDを挿入したマガジンをチェンジャーに設置してください。  |
| PAL/NTSC ERR | 映像方式が「PAL」のディスクを再生した。<br>ディスクを取り出してください。本機では、再生できません。  |
| REGION ERROR | リージョン番号が「2」または「ALL」以外のディスクを再生した。<br>ディスクを取り出してください。本機では、再生できません。   |

### お知らせ

チェンジャーと接続してお使いの場合は

E1、E2の前に、エラーとなっているディスク番号が表示されることがあります。

チェンジャーによって表示内容や対応操作が一部異なります。詳しくは、ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。

# MP3ファイル作成時の留意点

MP3 (エムピースリー) とは

MPEG 1 Audio Layer3、MPEG 2 Audio Layer3 LSF (Low Sampling Frequency)の略称。MPEGはビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3は、MPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。

約10分の1に圧縮できるので、音楽CD約10枚分の音楽データをCD-R/RW1枚に書き込めます。(ビットレート128 kbps、サンプリング周波数44.1 kHzで、容量650 MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその数値)

音楽データをMP3ファイルにエンコード(変換)するときは

ビットレートは「128 kbps以上」の「固定」に設定してください。推奨  
可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生できません。  
再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。  
詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。

ディスクにMP3ファイルを書き込むときは

MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないでください。  
多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。  
CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合は、CD-DAデータのみ再生されます。  
(MP3ファイルは無音で再生されます。)

本機が対応しているファイルシステムで書き込んでください。(右記参照)

APPLE HFS フォーマットには対応していません。  
規格に準拠していない場合には、正常に再生されなかったり、フォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。

MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。

「.MP3」以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合は、ファイルを再生できません。  
(拡張子は表示されません。)

「Disc at Once (ディスクアットワンス)」で書き込むことをお奨めします。

(マルチセッションにも対応しています。)

データを書き込んだディスクは、必ずクローズセッションしてください。

パケットライトソフトで作成されたファイルには対応していません。

プレイリスト機能には対応していません。ファイル名の頭に「01」～「99」などと入力することで、順番を設定できるライティングソフトもあります。

使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

Mix Mode (ミックスモード) で書かれたCD-Rなどを再生すると、MP3で記録された部分は無音で再生されます。

MP3ファイル以外の音楽データには、拡張子「.MP3」を付けしないでください。

ファイルシステム対応表

| ファイルシステム           | 文字数の制限(1バイト文字)        |  |
|--------------------|-----------------------|--|
| ISO 9660 レベル1      | 8.3形式<br>(8文字+「.MP3」) | フォルダ名、ファイル名は、英/数/カナを使用してください。奨励<br>最大64文字まで表示できます。(スクロール時)<br>ファイルシステムによって、文字数の制限などがあります。詳しくはライティングソフトの説明書をよくお読みください。<br>一部の記号や文字(言語)などは、表示できません。<br>空白や文字化けした表示になります。 |
| ISO 9660 レベル2      | 31文字                  |  |
| Joliet             | 64文字、8.3形式併用          |  |
| Romeo              | 128文字                 |  |
| ISO 9660アップル<br>拡張 | 31文字                  |  |

ファイル/フォルダ数の制限

フォルダの最大階層数：8階層

最大ファイル数：512

最大フォルダ数：254

(ルートフォルダを含まず)

ファイル数、フォルダ数が制限を超えた場合、正常に再生できません。

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配付、配信することは著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

## お知らせ

再生できないファイルは「E4」と表示されます。

本機にはMP3エンコーダソフト、およびライティングソフトは付属されていません。

MP3ファイルを書き込んだすべてのディスクが再生されるとは限りません。

フォルダの中にMP3ファイルがない場合でも、本機ではひとつのフォルダとして数えます。

ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、お望みの再生順序にならない場合があります。

再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。


再生中に車のイグニッションスイッチを「OFF」にすると、再生経過時間の表示が実際とずれる場合があります。

ID3 Tagについて

本機ではアルバム名/タイトル名/アーティスト名に対応しています。

文字化けして表示されるときは

TITLE / CHAPTER

 を押して、文字コードを切り替える

押すごとに文字コードが切り替わります。

シフトJIS Unicode 自動判別

# 用語解説

## 共通

サンプリング周波数、量子化ビット数  
アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法がとられています。1秒間に区切る回数を表したのがサンプリング周波数で、そのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。これらの数字が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

## マルチセッション

一枚のディスクに複数のセッション(CDに記録された、1グループのデータのセット)を記録することです。

## リニアPCM音声(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDビデオでは、44.1 kHz/16 bit ~ 96 kHz/24 bitで記録されているので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

## DVDビデオ/ビデオCD/音楽CD

### DTS (DVDビデオ)

ドルビーデジタルを上回るデータ量で、より高品質のサラウンドが再生できる方式です。音声信号を左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、右サラウンド、サブウーファー(0.1チャンネル)の5.1チャンネルに「分解」して記録・再生する完全ディスクリット(分割)方式です。記録されているチャンネル数は、ソフトによって異なります。(1~5.1チャンネル)

### MPEG (ビデオCD)

MPEGとは、ISO(国際標準化機構)とIEC(国際電気標準化会議)の下部組織である動画研究組織(Moving Picture Experts Group)で定められた動画圧縮の国際標準フォーマットです。同組織は、1991年にMPEG1を、1994年にMPEG2を制定しました。MPEG2は、MPEG1にさらに多くの改良を加えて、高画質化を可能にしたものです。

### アスペクト比 (DVDビデオ、ビデオCD)

モニターに表示される映像サイズ(横縦比)のことです。

### アングル (DVDビデオ)

対象物を見る視点のことで、マルチアングルのソフトでは、同じシーンを複数の視点から見ることができます。

### タイトル、チャプター (DVDビデオ)

DVDビデオは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられています。番号が付いているので、指定してお好きなところから再生できます。

| タイトル1   |         |    | タイトル2   |    |  |
|---------|---------|----|---------|----|--|
| チャプター-1 | チャプター-2 | …… | チャプター-1 | …… |  |

### トラック (ビデオCD、音楽CD)

ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り(トラック)に分けられて、それぞれ番号が付けられています。

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| トラック1 | トラック2 | トラック3 | トラック… |
|-------|-------|-------|-------|

### ドルビーデジタル (DVDビデオ)

音声信号を左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、右サラウンド、サブウーファー(0.1チャンネル)の5.1チャンネルに「分解」して記録・再生する完全ディスクリット(分割)方式です。記録されているチャンネル数は、ソフトによって異なります。(1~5.1チャンネル)

### ドルビーサラウンド (DVDビデオ)

左フロント、右フロント、センター、モノラルサラウンドの4チャンネル信号を2チャンネルで記録し、それをドルビープロロジックデコーダーで解析して再度4チャンネルに出力する方式です。

パン&スキャン画面(DVDビデオ、ビデオCD)通常サイズ(4:3)のモニターでワイド版の映像を再生したとき、左右の切れた状態で表示される画面のことをいいます。

### プレイバックコントロール (ビデオCD)

パッケージに「プレイバックコントロール対応」などの表記があるものは、モニターに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。

### リージョン番号 (DVDビデオ)

再生可能地域を示す番号です。

レターボックス画面(DVDビデオ、ビデオCD)通常サイズ(4:3)のモニターでワイド版の映像を再生したとき、上下に黒い帯が入った状態で表示される画面のことをいいます。

## MP3

APPLE HFS (アップル エッチエフエス)  
Macintoshで採用されている、階層構造を使ってファイルを分類する方式です。本機は対応していません。

Disc at Once (ディスクアットワンス)  
1枚のメディアにセッションのすべてのデータを一度で書き込む方式です。(複数回の書き込みはできません)

ID3 Tag (アイディーフリータグ)  
曲のタイトル、アーティスト、アルバムタイトルなどの文字情報をディスクに書き込む機能です。

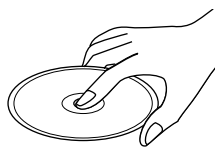
ISO 9660  
ファイルおよびディレクトリの論理フォーマット規格の世界的な標準規格です。

Packet writing (パケットライティング)  
必要なファイルを必要な時点でCDメディア(CD-R、CD-RWディスク)に書き込む方式です。本機は対応していません。

# ディスクの取り扱いについて

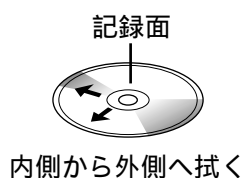
## 持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



## ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



内側から外側へ拭く

## ⚠ 注意

### 特殊形状のディスクやディスクアクセサリーは使用しない



禁止

ハート形や八角形など特殊形状のディスクや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのディスクアクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

### シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスクは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクは、使用しないでください。

## 保管について

### 長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。

ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

### 次のような場所に置かないでください

長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）

暖房器具の熱が直接あたるところ

湿気やゴミ・ほこりの多いところ

腐食性のある外気にふれるところ

（温泉地区、火山地区など）

強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

## お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。（読み取り中は「LOADING」と表示されます。）

## 取り扱いのお願い

ディスクそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

記録面に手を触れない

ディスクが回転する方向に拭かない

ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない

ディスクを曲げない、キズを付けない

鉛筆やボールペンなどで字を書かない

## CD-R/RWディスクのご使用について

再生可能なCD-R/RWディスクは、通常の音楽CDの形式（CD-DA）またはMP3で記録したディスクに限ります。

CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。

CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いので、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。

CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

CD-DA、MP3以外のデータ（ビデオCDなど）は、再生できません。

## 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。

分解したり、改造することも禁じられています。

# 本機のお手入れ

## 本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。

ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

## 画面を拭くときは

ホコリや汚れは、柔らかい布（付属のクリーニングクロスなど）で、から拭きしてください。画面をツメで引っかかないでください。キズが付くと見づらくなります。

# 配線・取り付けの前に

## 警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

## 配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

### ディスプレイユニット関係

| 品名                     | 個数 |
|------------------------|----|
| 電源コード                  | 1  |
| ユニット接続コード (3 m)        | 1  |
| リバース延長コード (6 m)        | 1  |
| 圧着式コネクタ                | 1  |
| 座付きねじ (M4 × 3 mm)      | 4  |
| 特殊座付きタッピンねじ (5 × 6 mm) | 2  |
| 特殊皿型タッピンねじ (5 × 6 mm)  | 4  |
| スペーサー                  | 2  |
| 両面テープ                  | 2  |

### TVチューナー関係

| 品名                      | 個数 |
|-------------------------|----|
| マジックテープ (16 mm × 97 mm) | 2  |

### TVアンテナ取り付け関係

| 品名                       | 個数 |
|--------------------------|----|
| アンテナベース (アンテナ本体に装着)      | 2  |
| クリーナーセット [クリーナー液・ウエス(布)] | 1式 |
| コードカバー                   | 4  |
| コードクランパー                 | 6  |

### スピーカー関係

| 品名         | 個数 |
|------------|----|
| コードクランパー   | 2  |
| 両面テープ (41) | 1  |

## 注意

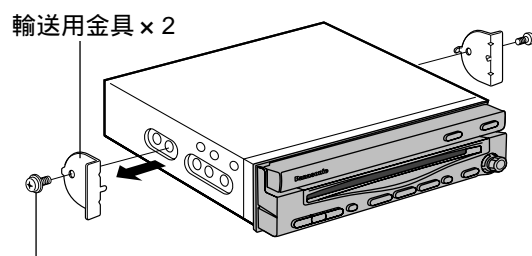
配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

## 作業の順序

**準備** 輸送用金具をはずしてください。



特殊座付きタッピンねじ × 2 (5 × 6 mm)

取りはずしたねじ(2本)は、ディスプレイユニットの取り付けに使用することがあります。(☞78ページ)

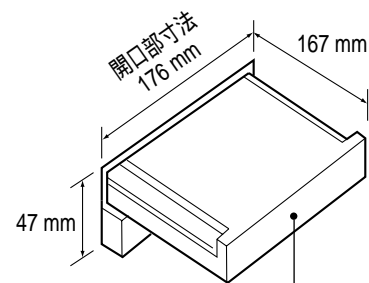
- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。(☞82～86ページ)  
他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
- 3 取り付ける。(☞78ページ)  
ショート事故防止のため、電源コードのコネクタは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

### お知らせ

別売のコネクタ付コード(車両メーカー別)をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店に相談してください。

## 取り付け部の寸法・角度の確認

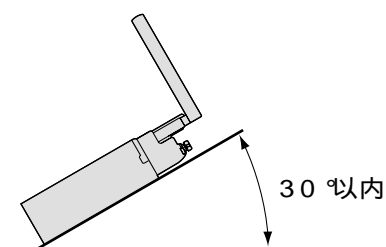


モニターは、約167 mm前方に出てから立ち上がります。

オーディオスペースがDINサイズまたは2DINサイズでない場合は、販売店に相談してください。  
DINサイズ (横180 mm × 縦50 mm)  
2DINサイズ (横180 mm × 縦100 mm)

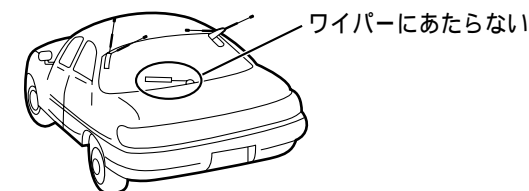
ダッシュボードの形状や寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



## TVアンテナの取り付けについて

リアウインドウ(上部のコーナー部分)へ、アンテナエレメントが車両の外側にはみ出さないように取り付けてください。(☞80ページ)



1BOXカー、2BOXカーの場合にはバックドアの開閉でアンテナエレメントが目にあたりたり、コードが断線しないよう取り付けてください。

### 接着力を高めるために

貼りなおさない  
一度取り付けると、粘着力が弱くなるため、貼りなおしができません。仮止めして、取り付け位置を確認してください。

雨天時は野外で作業しない  
ドライヤーなどで湿気を乾かしてください。

ガラスの表面をあたためる  
外気温が20°C以下のときは、5分ほどリアウインドウデフォグガーや車内ヒーターを使用してください。

貼り付けたあと、24時間放置する  
雨中を走行したり、引っ張ったりしないでください。(通常の走行は、さしつかえありません。)

### お知らせ

フッ素樹脂処理された(水滴や泥水等をはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には取り付けられません。

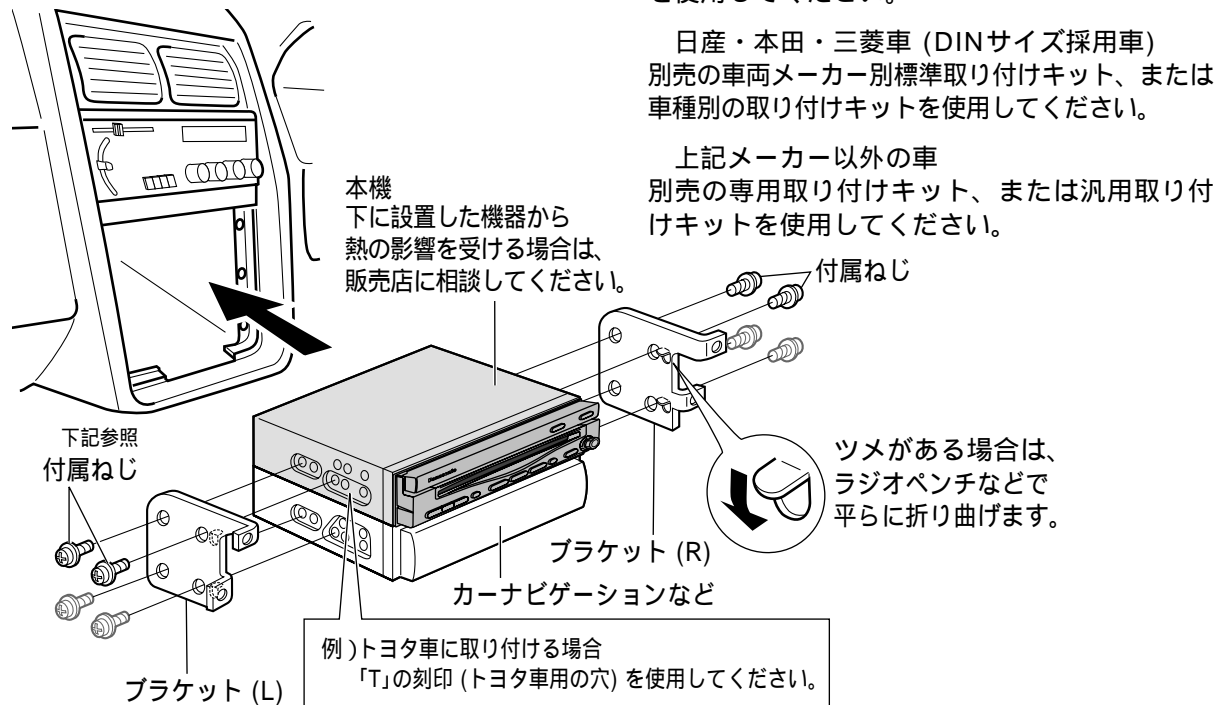


# 取り付けかた

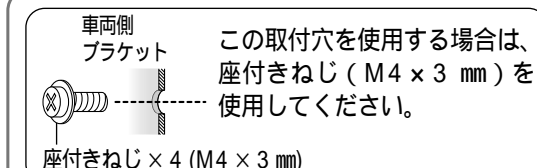
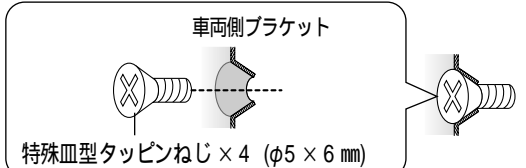
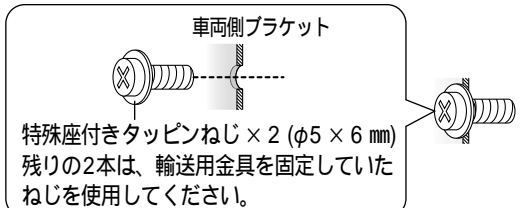
## ディスプレイユニット

使用する取り付け金具（ブラケット）は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。

必ず本機を上に取り付けてください。  
（本機を下にすると、モニターが開いたときに上側の機器の前面をふさいでしまいます。）

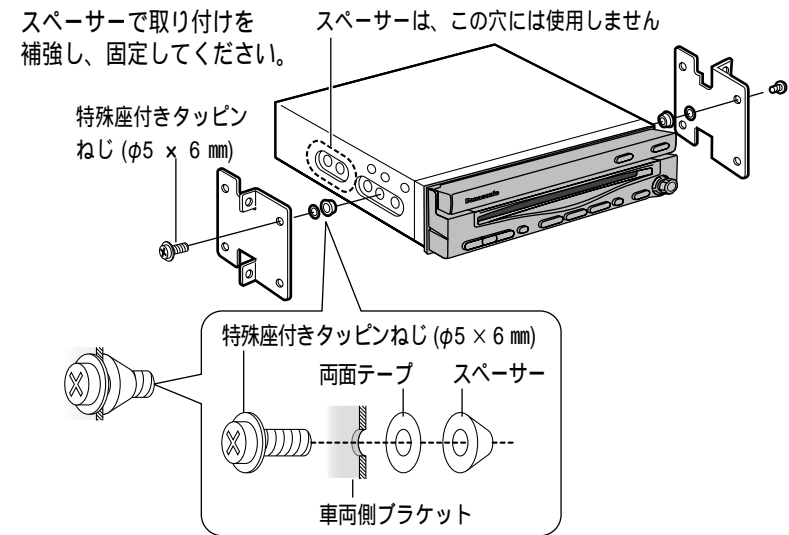


付属のねじは、取り付け金具（ブラケット）の穴形状に合わせて選んでください。



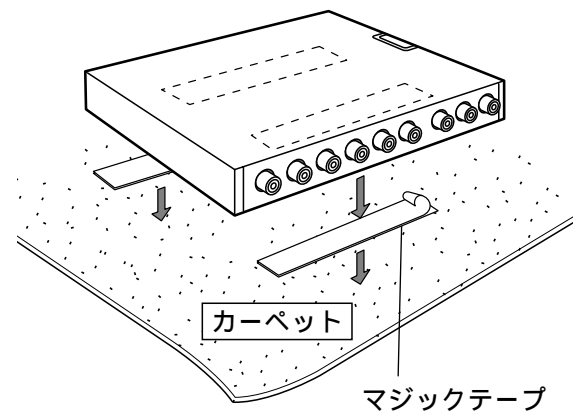
**お願い**  
本機の実取り付け用穴の一部にはタップ加工がありません。必ず付属のタッピンねじを使用してください。また、他のねじ類と区別するため、必ず付属のねじは、他のねじとは別々に保管してください。故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使わないでください。

## ブラケットが不安定な場合には



## TVチューナー

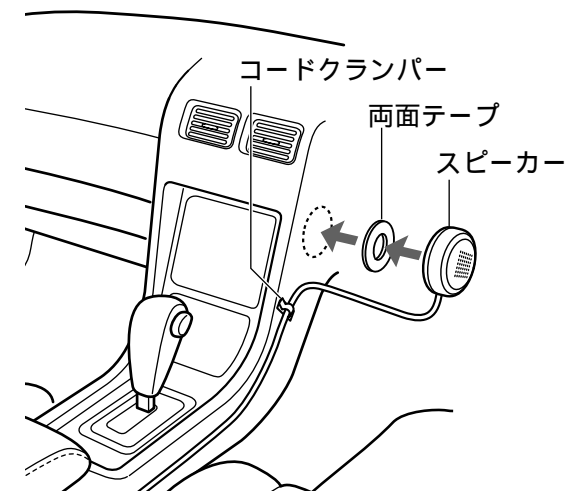
底面の溝を避けて、マジックテープを貼り付けてください。



マルチチャンネルAVマスターユニット (CA-TU9200D) またはAVマスターユニット (CA-TU7200D) と組み合わせる場合の実取り付けかたは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

## 付属スピーカー

センタースピーカーとして使用することはできません。



**お願い**  
車の運転やエアバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に取り付けてください。クレジットカードなどをスピーカーのそばに置かないでください。磁気により、カードが使えなくなることがあります。

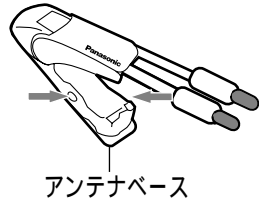
接着力を強めるため、テープを貼り付ける部分の水分・ほこり・油などを拭き取ってください。

必要ときに

# TVアンテナを取り付ける

## 1 アンテナ本体からベースをはずす。

両側のボタンを押しながら、アンテナ本体を上を持ち上げる。



## 2 アンテナベースを取り付ける。

ガラス面に合うように、アンテナベースを整形する。

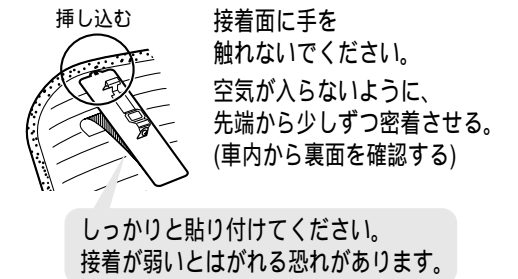


クリーナーセットで、貼り付ける部分のほこり・油・ワックスを拭き取る。



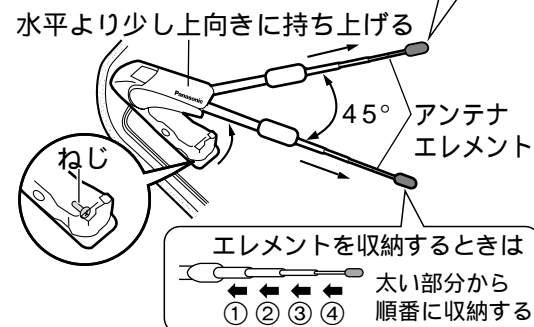
乾いて白くなったクリーナー液は乾拭きで拭き取ってください。

裏紙をはがして、アンテナベースを貼り付ける。



## 調整のしかた

引き伸ばしてお使いください。



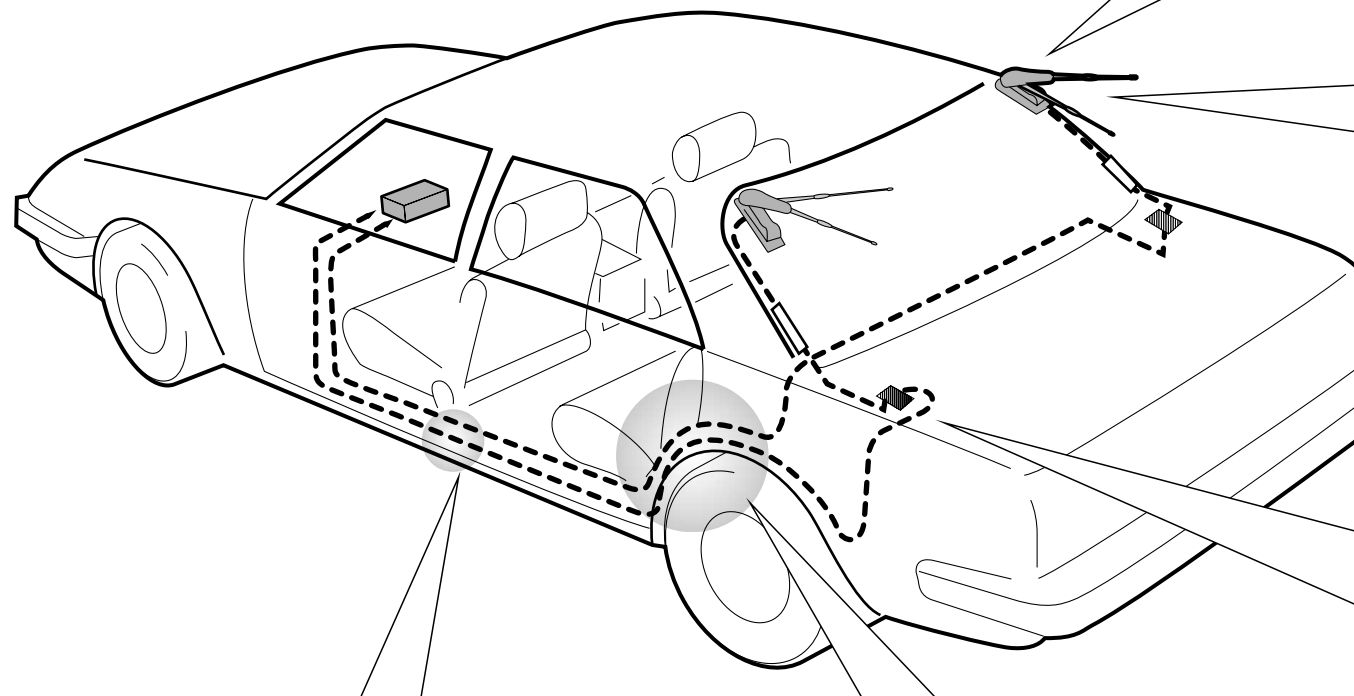
エレメントが車幅からはみ出す場合は...

- ① ドライバーでねじをゆるめて、
- ② アンテナ本体の傾きを調整し、
- ③ ねじを締めなおす。

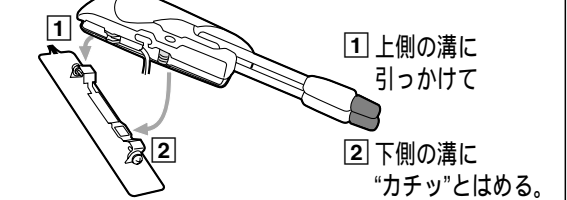
エレメントがスムーズに伸縮しないときは... 付属のクリーナー液、または市販のねり状ワックスで磨いてください。

### お願い

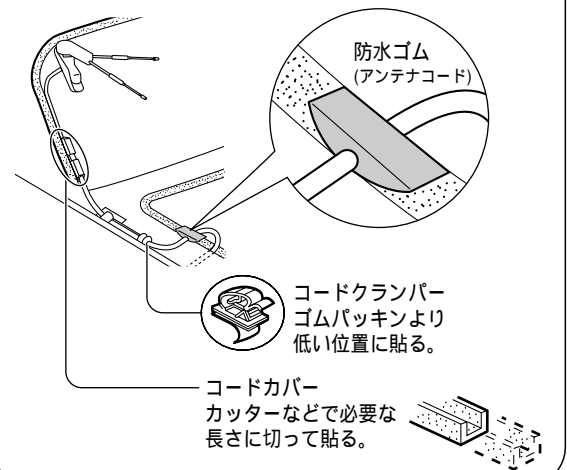
エレメントの先端は細いので、ていねいに扱ってください。時々、ねじのゆるみを点検し、締めなおしてください。洗車や長時間駐車するときは... TVアンテナ本体をはずし、トランクへ収納してください。



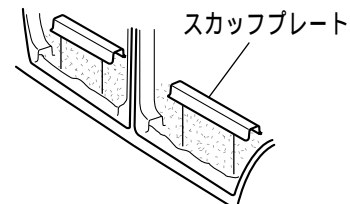
## 3 コードを外側に出してアンテナ本体を取り付ける。



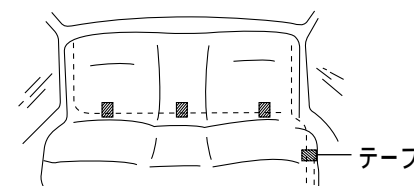
## 4 トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。



## 6 車のスカッフプレートをはずしてカーペットの下を通す。



## 5 コードの要所を市販のテープなどでリアシートに固定しながら、引き回す。



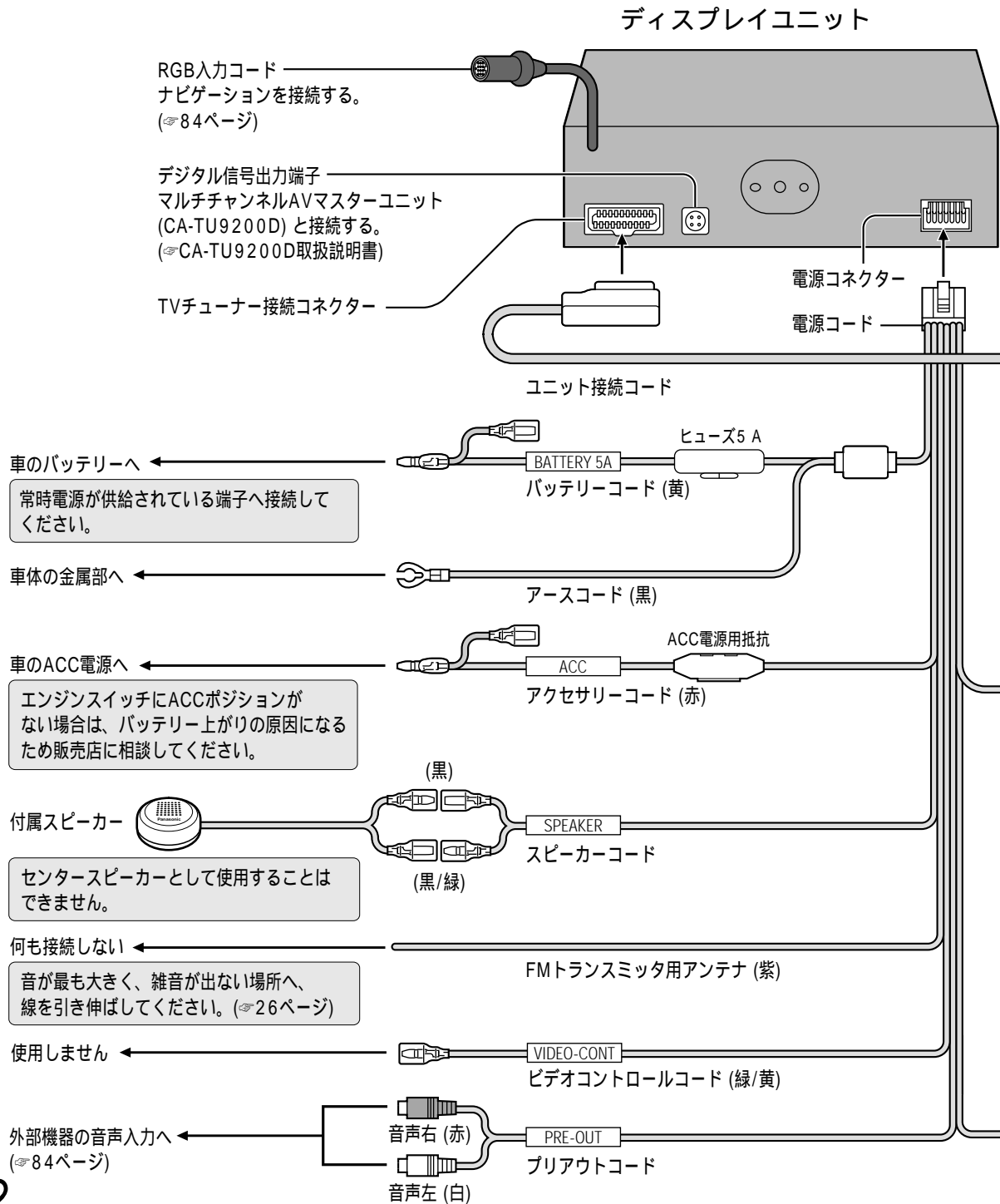
必要ときに

# 配線のしかた

## 基本配線（付属コードを接続する）

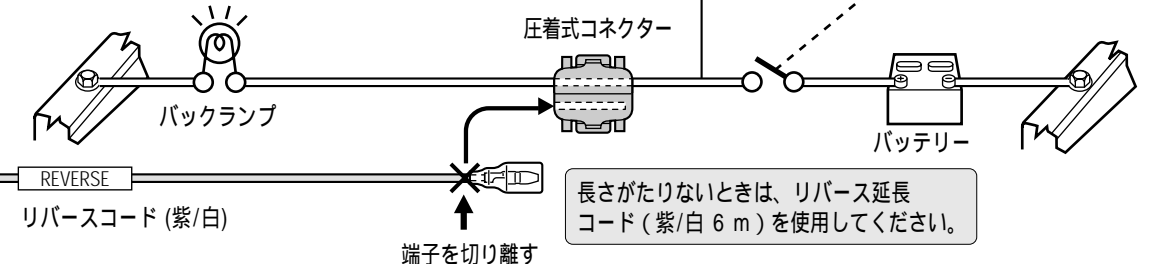
ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線を済ませてから接続してください。

コネクターは確実に挿し込んでください。取りはずすときも、必ずコネクター部分を持ってください。



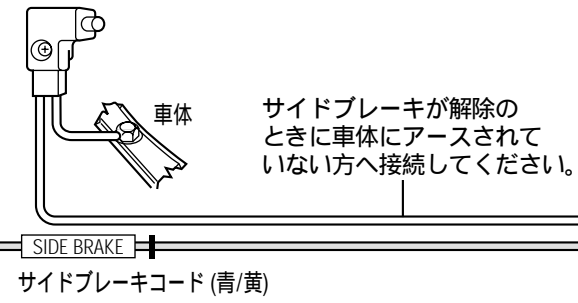
### リバースコードの接続方法

車載用カメラを接続するときは、必ずリバースコードを接続してください。車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ(後退灯、透明のレンズが付いたランプ)のプラス線に接続してください。

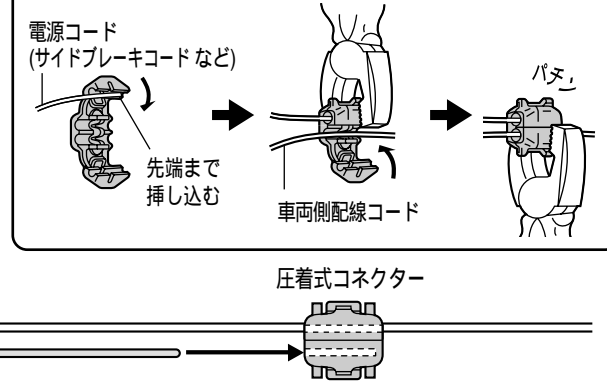


### サイドブレーキコードの接続方法

安全と事故防止のため、必ず行ってください。サイドブレーキスイッチ



### 圧着式コネクターの接続方法



必要ときに

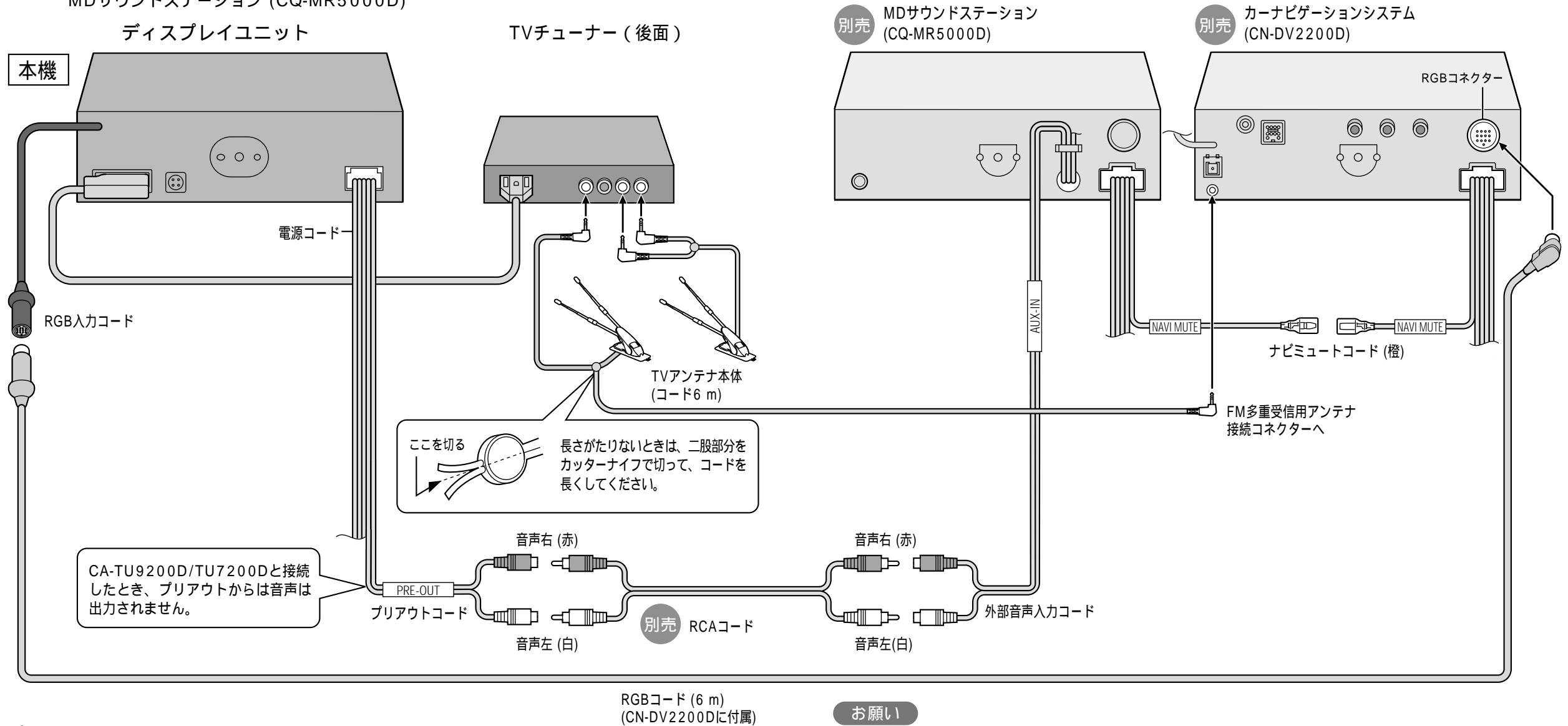
# 配線のしかた

## カーナビゲーションシステム、MDサウンドステーションを接続する

接続する機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

「ナビゲーション入力」の設定を確認してください。(P.32ページ)

例) カーナビゲーションシステム (CN-DV2200D)  
MDサウンドステーション (CQ-MR5000D)



プリアウトコードを使用するときは

接続する機器によって、本機の音声が歪む場合があります。

別紙「本機とオーディオを組み合わせて使用する場合のご注意・お願い」をご覧ください。指定の中継コード (別売) で接続してください。

※取り付けに必要なキットやコードは、車種および取り付け場所によって異なりますので、販売店に相談してください。

### お願い

各機器を重ねて取り付けしないでください。

コネクタは確実に挿し込んでください。取りはずすときも、必ずコネクタ部分を持ってください。

コードは高温部を避け、クランプやテープで固定してください。

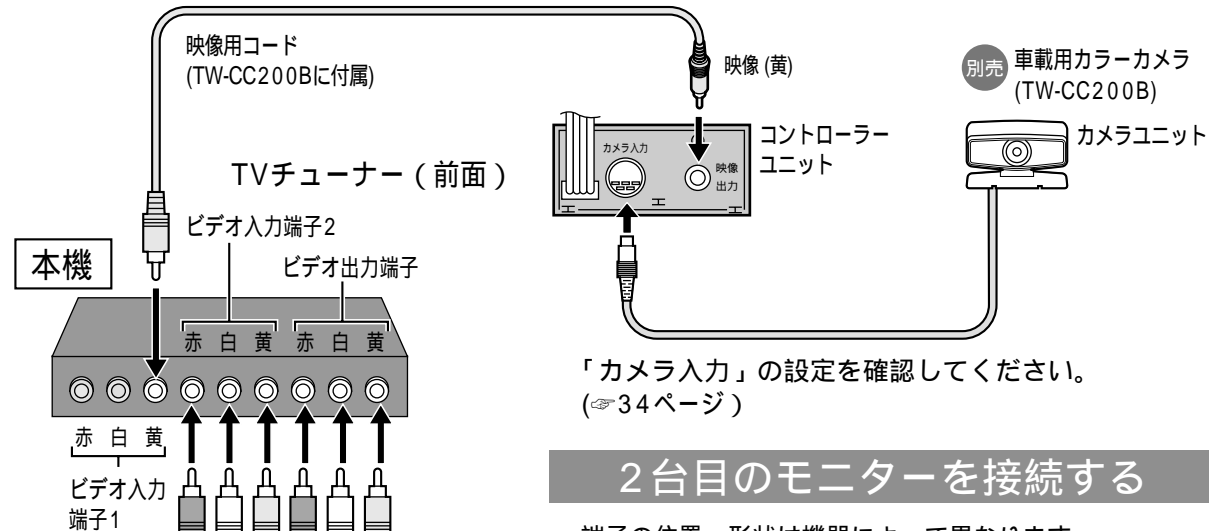
ゲーム機器を接続すると、映像が不安定になることがあります。

TVアンテナのコードとナビゲーションの配線は、できるだけ離してください。

ナビゲーション映像の明るさが一定でない、またはエンジンの回転数に比例したノイズが出る場合には、ナビゲーションのアースコードを本機のアースコードと同じ場所に接続してください。

接続する機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

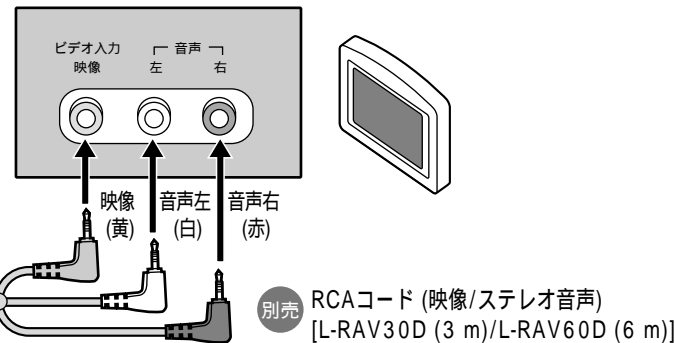
## 車載用カメラを接続する



「カメラ入力」の設定を確認してください。  
(←34ページ)

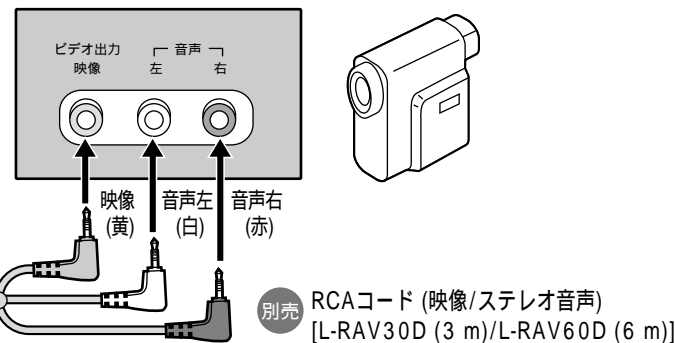
## 2台目のモニターを接続する

端子の位置、形状は機器によって異なります。



## 車載用ビデオやビデオカメラを接続する

端子の位置、形状は機器によって異なります。



| 共通             |   |
|----------------|---|
| 電源電圧           | : DC12 V (11 V - 16 V)<br>⊖アース (試験電圧14.4 V) |
| 消費電流           | : 1.5 A (TV動作定格出力時)                         |
| 最大出力           | : 0.7 W                                     |
| 適合スピーカーインピーダンス | : 8   |
| プリアウト出力電圧      | : 0.8 Vrms (TV)/1.8 Vrms (CD)               |
| プリアウト出力インピーダンス | : 600                                       |
| 映像入力信号         | : コンポジットビデオ信号<br>1.0 Vp-p (75 )             |
| 映像出力信号         | : コンポジットビデオ信号<br>1.0 Vp-p (75 )             |
| 外形寸法/質量        |   |
| 本体             | : 178 × 50 × 160 (mm)<br>(幅×高さ×奥行き)/2.4 kg  |
| TVチューナー        | : 153 × 21 × 150 (mm)<br>(幅×高さ×奥行き)/0.7 kg  |

| スピーカー   |       |
|---------|-------|
| インピーダンス | : 8   |
| 最大入力    | : 2 W |

| モニター  |   |
|-------|---|
| 画面寸法  | : 7V型ワイド<br>156 × 87 (mm) (幅×高さ)<br>178 (mm) (対角) |
| 画素数   | : 336 960画素<br>(縦234 × 横480 × 3)                  |
| 有効画素率 | : 99.99 %以上                                       |
| 表示方式  | : 透過型カラーフィルター方式                                   |
| 駆動方式  | : TFT (薄膜トランジスタ)<br>アクティブマトリクス方式                  |
| 使用光源  | : 内部光 (小型蛍光管内蔵)                                   |

| TV      |  |
|---------|--|
| 受信チャンネル | : VHF1-12 ch, UHF13-62 ch<br>(TVステレオ、音声多重) |
| 実用感度    | : 35 dB/μV                                 |

| TVアンテナ             |                                    |
|--------------------|------------------------------------|
| 出力インピーダンス          | : 75 × 4 (ミニプラグ付)                  |
| コードの長さ             | : 6 m                              |
| 外形寸法<br>(エレメント収納時) | : 30 × 28 × 190 (mm)<br>(幅×高さ×奥行き) |
| 質量                 | : 250 g<br>(アンテナ本体片側、コードを含む)       |

## デジタル音声出力

| ディスク   | 音声記録方式                         | デジタル出力される信号                          |
|--------|--------------------------------|--------------------------------------|
| DVDビデオ | ドルビーデジタル                       | ドルビーデジタルビットストリーム (1~5.1 ch)          |
|        | dtc                            | dtcビットストリーム (1~5.1 ch)               |
|        | リニアPCM<br>(48kHz、16/20/24 bit) | リニアPCM (2 ch)<br>(48 kHz、16 bitのみ)   |
| ビデオCD  | MPEG1                          | MPEG1ビットストリーム                        |
|        | リニアPCM                         | リニアPCM (2 ch) (44.1 kHz、16bit)       |
| 音楽CD   | リニアPCM                         | リニアPCM (2 ch) (44.1 kHz、16bit)       |
|        | dtc                            | dtcビットストリーム (1~5.1 ch)               |
| MP3    | MP3                            | リニアPCM (2 ch) (32/44.1/48 kHz、16bit) |

dtcはデジタル出力のみです。(アナログ音声は出力されません。)

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。  
「DOLBY」、「ドルビー」、「PRO LOGIC」、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。  
本機は、米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。  
合衆国特許No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。  
「DTS」および「DTSデジタルアウト」は、DTS社の登録商標です。著作権1996年、2000年DTS社。不許複製。  
「NAVI」「ナビ」は登録商標です。  
テレビのV型(7V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

必要ときに

## アフターサービスについて

### 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

### 修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。なおらないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼に出来ない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

### 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

### 保証期間が過ぎているときは


修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

### 補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

修理・お取り扱いなどのご相談は...  
お買い上げの販売店 または  
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ  
  
その他のお問い合わせは...  
「お客様相談センター」へ

### お客様相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-50-8729**  
FAX **045-939-1939**  
受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

この説明書は、再生紙を使用しています。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

## 便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

|              |       |    |             |
|--------------|-------|----|-------------|
| お買い上げ日       | 年 月 日 | 品番 | CY-TVD9200D |
| 販売店名         | i ( ) | -  |             |
| お客様<br>ご相談窓口 | i ( ) | -  |             |

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283876

F0602-0